

津山ふぁみ・さぽーに通信

No.63 2020/2月

今年の冬は異例の暖冬、雨が多い冬となっています。

津山ファミリー・サポート・センターは、おかげさまで今年も穏やかな1年のスタートを切ることができました。

ファミ・サポの活動は、子育ての手伝いを希望する依頼会員からの申し込みを受け、調整役のアドバイザーが、子育ての手伝いを行う提供会員にすぎサポートが行われます。

提供会員の皆さんが、安全に気をつけ細やかな心遣いで、子どもさんに接してくださっていることが大変喜ばれています。依頼会員の皆さんがどんなに安心し、助けられていることかと、アドバイザーの私たちもいつも感謝しています。

遊びに来てね

～ ミニサロン 開催しています ～

子育て中の人たちがちょっと息抜きをしたり、ほかの親子のみなさんとおしゃべりできるよう

毎月第4水曜日の10:30～12:00

「さん・さん」の和室で

サブ・リーダーさんたちが笑顔で待っていてくれます。

アットホームなサロンに来てみませんか。

申し込みもいりません。お気軽にどうぞ！

行事報告

令和元年11月13日 提供会員交流会 荷造りひもで作るカラフルバック

講師の岡嶋京子さんに荷造りひもを糸にして編むバック作りを習いました。

編んではほどき、編んではほどきと悪戦苦闘の参加者の皆さんでしたが・・・終わってみれば、「楽しい～」の声がいっぱい聞こえた交流会でした。

また、休憩時間には、3人のサブ・リーダーさんがファミ・サポの活動の体験談を話して下さり和やかに過ごしました。



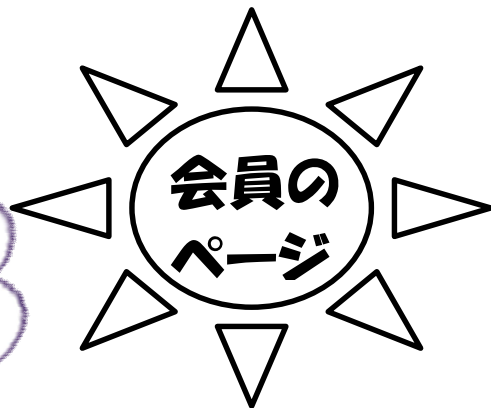
令和元年12月15日 「さん・さん祭り」イベント クリスマス交流会と展示

子どもたちは、人形劇やサンタのプレゼントはもちろんのこと、アンパンマンパペットのファミ・サポPR劇も見入っていました。

また、この日は「さん・さん祭り」の展示会場でファミ・サポの年間行事の紹介やカラフルバックの展示も行いました。



クリスマス会を運営したサブ・リーダーの皆さんとその子どもさんとサンタさん



夫の転勤で津山に来て4年になります。夫、私、3才の長女と1才の二女の4人家族です。

Q:子育てで大切にしていることは？

A:スキンシップやコミュニケーションです。できないことを叱るより少しでもできるようになったことを褒めるように心がけています。

夫、15才、12才、0才の娘と私の5人家族です。さらに、犬と猫がいます。

Q:登録のきっかけは？

A:上の娘たちの学校行事が重なり下の子の世話をどうしようかと困っていた時、ファミ・サポの存在を思い出し、登録しました。



夫の転勤で引っ越してきて4年目です。夫、私、4才の長男と2才の二男の4人家族です。

Q:子育てで楽しいことは？

A:子どもの「できた！」を一緒に喜べること。成長を感じる喜びは、子育てのマイナスをプラスにしますね！



支援学校、児童養護施設と子どもに関わる仕事を退職した後、NPO法人「オリーブの家」でボランティア活動をしています。

Q:保育園送りのサポートの感想は？

A:朝、家に迎えに行くとおばあちゃんと笑顔で出てきて、車内ではお友達の話をしながら行きました。

私自身の子育て中、仕事で忙しく困ったことがありました。ファミサポの活動は、そんなとき、子どもさんを安全に見守ることができるので、保護者も安心して仕事や用事に専念できると思います。

資格を活かして、大学などで自己表現、コミュニケーションをテーマに指導しています。また、小学生の学校支援ボランティアとして活動もしています。

Q:保育園迎えのサポートの感想は？

A:一度会っただけだったので少し不安でしたが、当日、Yちゃんが笑顔で駆け寄ってくれ嬉しかったです。手をつなぐと小さな手のぬくもりが気持ちを和ませてくれました。ほのぼのとした気持ちになりました。



県北情報誌 JAKEN に
今年度、掲載した会員さん
を紹介します。
皆さんにいろんな質問を
しています。



夫、4才と1才の娘と私の4人家族
です。夫の両親は近くにいますが、
仕事をしているため、ご近所さんの
力を借りて奮闘中です。

Q:顔合わせの感想は？

A:自分の子どもを人に預けることに不
安があったのですが、顔合わせをし
たら皆さんがとても優しく温かく子
どもに接してくださり、子どもも楽
しそうな笑顔を見せてくれたので、
安心できました。



夫と私、1才の長男の3人家族で
す。4月の職場復帰に備えて登録
しました。

Q:職場復帰を控えて不安は？

A:仕事と育児の両立をすることにと
ても不安を感じています。サポートし
てくださる提供会員さんの助けを借
り、家族と協力して頑張ろうと思
います。

昨年の春、津山に引っ越して来ま
した。夫と5才の息子と私の3人家
族です。津山に住むのは初めてで
すが、1年経ってやっと少しずつ環
境や気候に慣れて来ました。

Q:登録のきっかけは？

A:私たち夫婦が仕事で遅くなる時
などに「近くに子どもを見てくれる
人がいない」という話を職場でし
たら、子育てを手伝ってくれるファミ
・サポがあると聞き登録しました。



夫、私、10才と3才の娘の
4人家族です。およそ5年
前、友人の紹介で両方会員
に登録しました。

Q:預かりサポートの感想は？

A:事前に顔合わせをしたので、
お子さんのようすを知ること
ができました。
サポート当日は、一緒に楽
しく遊んで過ごしました。



中学2年生と1年生の息子の母です。
犬の「小梅」も家族の一員です。子
どもが小さいときに登録しました。

Q:子どもさんが中学生になった今後は？

A:仕事をしているため、今は活動でき
ませんが、多くの方にファミ・サポ
を知ってもらいたいのので今回の取
材を受けました。時間ができたら、
サポートをしたいと思っています。



子育てサポート講習会の報告



令和元年 10 月 10 日（水）「子どもの事故予防と救急法」

安心してサポート活動を行うために、毎年開催しているこの講習会は、提供会員だけでなく、子育て・孫育てをしている人の参加もあります。また、今年は学童の放課後デイサービスを行っている施設の職員さんの参加もありました。

講師：津山圏域消防組合職員

内容は主に子どもの誤飲、窒息死、アレルギー、熱中症などについての話で、子どもが誤飲をした場合の対処法については、背部叩打法と胸部突き上げ法の実習を行いました。また、救命法の流れに沿って心肺蘇生と AED の使い方も実習しました。

最後に DVD を見て、平成 16 年 7 月から一般の人が AED の使用ができるようになったため、職場、教育現場や公共の場で救える命が多くなったということを知り、万一救命の必要がある現場に遭遇したら、勇気をだして救命活動に参加してほしいというメッセージを聞きました。

《 受講者の感想 》

- ・初めてこのような講習会に参加しました。子どもと AED のある所を確認し、ネット動画で見るだけだったので、今日実際に使ってみて操作の仕方がわかり、心構えもでき自信になりました。
- ・AED の研修は何度か受けたことがあるのですが、久しぶりだったので忘れていたこともあり、改めて確認ができました。その場に遭遇したときに勇気を持って救命活動ができればと思います。
- ・乳幼児の救急講習を受ける機会がなかったので、大変勉強になりました。
- ・万一の時、子どもを抱きしめるだけでは命は救えない。実際役立つ救急法の良い勉強になりました。

お知らせ



知識と技術を身に付け安心してサポート活動をしていただくために実施している救命講習ですが、厚生労働省の要綱改正により**緊急救命講習を毎年開催することが必須**となりました。

また提供会員・両方会員に対しても、**5 年ごとに受講するよう義務付け**られています。

入会后まだ一度も受講しておられない方、来年度の救命講習会に、是非ご出席をお願いします。

講習会案内

子育てサポート講習会 「支援の必要な子どもの理解と関わり方」

日 時：令和 2 年 3 月 23 日（月）
10：30～12：00

講 師：山村 亮介さん
津山市療育センター職員（公認心理師）

内 容：支援の必要な子どもの特性を知り、サポート活動での声のかけ方や関わり方を学びます。

お問合せ 津山ファミリー・サポート・センター TEL：0868-31-8753
〒708-8520 津山市新魚町 17 番地 アルネ・津山 5 階「さん・さん」内
■開館時間 月・水～金 10：00～19：00 土・日 10：00～18：00
■休 館 日 毎週火曜日・祝日・年末年始

会 員 数 1,062 人（依頼会員：542 人 提供会員：477 人 両方会員：43 人） 令和 2 年 1 月末現在